

札幌大谷大学・同大学短期大学部の学生の宗教意識調査

「宗教学」の授業アンケート調査を通して――

福島栄寿

I. はじめに

本学では、大学学部生は「宗教と人間」、短期大学部学生は「宗教学」が、一年生次後期に、二単位の必修科目として設定されている。開講の目的は、基本的には、本学の「建学の精神」と、仏教等の宗教に関する基本的な知識の習得に置いている。筆者は、当該科目を、2007年度(平成19年度)より担当し、2008年度(平成20年度)で二年目を終えた。この間、現代の学生たちに、いかなる授業内容が望ましいのかを、試行錯誤しながら模索してきたというのが率直な感想である。世論調査では、日本社会においては、1995年のいわゆるオウム真理教事件を契機として、宗教離れの傾向があることが指摘されているが¹、その傾向は、年齢が若くなるほどそうであり、当然、現代の学生たちについても、同様の傾向があることを想定しながらの授業であった。そうした実情に鑑み、今回のアンケート調査は、学生の宗教意識の実態把握、授業の内容について今後、改善等の検討を行っていくための手がかりとすることを目的に実施したものである。

1. 「宗教と人間」と「宗教学」の授業内容

まず、2008年度に実施した「宗教と人間」「宗教学」の授業内容と授業計画等は、以下の通りである。『札幌大谷大学 平成20年度シラバス』『札幌大谷大学短期大学部 平成20年度シラバス』から、引用して示しておく。

○音楽学部生対象「宗教と人間」

授業内容

「宗教」は特定の宗教を主として信仰の立場から教えるのに対して、「宗教学」は特定の宗教あるいは宗教一般についての正しい知識を提供する。すなわち、宗教の一般的かつ個別的特質、社会と文化における位置づけ等、宗教の諸相を客観的に究明する学問である。

この授業では、まず「宗教」概念の整理を、現在の「スピリチュアリティ」まで辿る。そのような基本的な理解を踏まえて、インドから日本に至る仏教の歴史と思想を主に学ぶ。まずブッダの基本的な思想を学ぶに先立って、インドという特異な文化的背景を比較文化論の見地から明らかにする。次いで各論に入るが、たんに仏教思想史をたどるのではなく、西洋の哲学や宗教思想(キリスト教)との比較を行い、また仏教説話等を題材としてつねに現代的で身近な問題として捉えるよう試みる。最後に、本学の「建学の精神」である親鸞聖人の思想を仏教思想史の一つの帰着点として学び、実際に宗教行事に参加するとともに、その現代的意義を探る。

授業計画

①ガイダンス：授業内容、授業目的、授業計画、評価の方法・観点の説明

②宗教とは何か①：「宗教学」と「宗教」概念について

③宗教とは何か②：「宗教学」と「宗教」概念について

④仏教①：総論 ブッダの足跡と基本的な世界観①

⑤仏教②：総論 ブッダの足跡と基本的な世界観②

⑥仏教③：各論 業、縁起

⑦仏教④：各論 四諦、五戒

⑧報恩講(学校行事)：真宗大谷派札幌別院において宗教行事に参加し、「建学の精神」を学ぶ。

⑨全学仏教講演会(学校行事)：全国の大学から招いた有識者による仏教講演会を聴講し、「建学の精神」を学ぶ。

⑩親鸞の足跡と思想①：親鸞の生涯を学ぶ

⑪親鸞の足跡と思想②：『歎異抄』と近代の真宗と「建学の精神」

⑫キリスト教者の思想と行動：マザー・テレサを通して

⑬スピリチュアリティを手がかりに①：現代社会の「宗教」をめぐる諸相

⑭スピリチュアリティを手がかりに②：アニメやマンガを通して

⑮まとめ：授業全体の総括と試験

¹ 読売新聞社による世論調査「日本人：宗教観」(読売新聞2008年5月30日付)。1979年から継続的に5年おきに行っている同社の世論調査では、「宗教を信じている」人の割合は、オウム真理教事件後に、最低の20%を記録し、その後は、徐々に回復傾向にあるものの、3割を切る低い水準にとどまっている、とされる。

○短期大学部生対象「宗教学 a・b・c・d」

授業内容

この授業では、現代における「宗教」についての諸現象について、少し客観的に見ることを意識しながら、多面的に考えてみたい。また、日本人の多くが、宗教行動(初詣など)をしているにも関わらず、なぜ、自分と「宗教」との関わりについては、「無宗教」と思い込んでいるのだろうか。その背景について、日本の明治以降の宗教史を学びながら考えたい。加えて、授業では、ブッダの生涯とその思想を学ぶ。そして、生活の中にある仏教語や「スピリチュアリティ」をキーワードにして、いかに私たちの生活が仏教思想や「宗教」と関わっているのかを考えてみたい。最後に、本学の「建学の精神」である親鸞聖人の生涯と思想について学び、実際に宗教行事という場に身を置くことなどを通して、その現代的意義について各自において考えてもらうことを試みたい。

授業計画

- ①ガイダンス：授業内容、評価の方法などについて
- ②「宗教」とは、何か：「宗教」のいま。
- ③私たちはなぜ「無宗教」なのか：近代日本宗教史を手がかりに
- ④ブッダの生涯①
- ⑤ブッダの生涯②
- ⑥ブッダの生涯③
- ⑦ブッダの生涯④
- ⑧報恩講(学校行事)：真宗大谷派札幌別院において宗教行事に参加し「建学の精神」を学ぶ。
- ⑨全学仏教講演会(学校行事)：全国の大学から招いた有識者による仏教講演会を聴講し「建学の精神」を学ぶ。
- ⑩キリスト者の思想と行動：マザー・テレサについて
- ⑪「スピリチュアリティ」をキーワードにして①
- ⑫「スピリチュアリティ」をキーワードにして②
- ⑬親鸞の足跡と思想①
- ⑭親鸞の足跡と思想②
- ⑮まとめ：授業全体のまとめと試験

2. テキスト・視聴覚教材

授業では、決まった教科書は使用せず、毎時、プリントとして資料を配付した。視聴覚教材と合わせて利用し、適宜、板書、解説を加えながら授業を展開した。なお、資料の作成のために参考にした主なテキスト類は、以下のようなものである。

棚次正和・山中弘編著『宗教学入門』(ミネルヴァ書房)、『岩波講座 宗教 1 宗教とは何か』(岩波書店)、『岩波哲学・思想事典』(岩波書店)、『宗教と現代がわかる本 2007』(平凡社)、塩尻和子・津城寛文・吉水千鶴子監修『図解 宗教史』(成美堂出版)、船曳建夫『「日本人論」再考』(NHK ブックス)、『最新図説 倫理』(浜島書店)、『日本100年戦後半世紀 1945～1995 下巻』(朝日新聞社)、読売新聞社世論調査『日本人「幸福観」』(2008年9月28日)・『日本人「宗教観」』(2008年5月30日)、阿満利磨『日本人はなぜ無宗教なのか』・『人はなぜ宗教を必要とするのか』(ちくま新書)、『釈尊 生涯と教え』(東本願寺)、『ブッダと親鸞』(東本願寺)、此経啓助『仏教力テスト』(NHK 新書)、『しんらんさまめぐり 京都編』(東本願寺)、『現代語 歎異抄』(親鸞仏教センター)、『あんじやり 第11号』(親鸞仏教センター)、特集記事『100人の20世紀 マザー・テレサ』(毎日新聞 1998年10月25日)、島蘭進『スピリチュアリティの興隆』(岩波書店)、櫻尾直樹『マンガに見る現代日本若者の死生観——『バガボンド』とその読者』(『第2回日韓宗教研究フォーラム 国際学術大会2003』所収)、『第三文明 特集・スピリチュアリティを考える』(575号 2007年11月)、宮崎駿『スタジオジブリ絵コンテ全集13 千と千尋の神隠し』・『出発点1979～1996』(徳間書店)、『キネ旬ムック フィルムメーカーズ(6) 宮崎駿』・『千と千尋の神隠し』を読む40の目』(キネマ旬報社)

また、視聴覚教材として、釈迦、親鸞、マザー・テレサのライフヒストリーがまとめられた作品(民放「知ってるつもり」)、「宗教学」という学問について宗教学者カール・ベッカーとコメディアン「爆笑問題」とが対談する

もの(NHK「爆問学問 宗教学」)、在宅医療に携わる医師が、患者の死に寄り添い看取っていく姿を描いたドキュメンタリー(NHK「命を見つめる往復書簡」)や自らの死と向き合うジャズシンガー石野見幸さんの生き様を取り上げたドキュメンタリー(NHK「ジャズシンガー命のブログ ―分ち合った“生きる希望”」)の他、現代社会における葬送儀礼の一側面を、「葬祭ディレクター」という仕事に取り組む若者の姿を通して描いたドキュメンタリー(NHK「あしたをつかめ ―平成若者仕事図鑑」)、高齢者のグリークラブのメンバーたちが、それぞれに「千の風になって」に寄せる気持ちを描いたドキュメンタリー(「NNNドキュメント'07 わたしの千の風 ―伝えたい、この歌を…」)等を使用した。

3. 授業概要

授業で目指したことは、「宗教」の基本概念や、生活の中にある宗教についての基本知識、仏教に関する基本知識、「建学の精神」(浄土真宗の思想)、宗教施設へのフィールド・ワーク(具体的には真宗大谷派札幌別院での行事「報恩講」への参加、仏教講話の聴講)、「報恩講」に先立って親鸞の思想と生涯に関する学習、仏教以外の宗教としてキリスト教に関する基本知識、「スピリチュアリティ」の流行にみる現代宗教の状況についての基本知識等の修得である。宗教をめぐる基本的な知識の修得を目的としつつも、授業を通して、結果的に、先入観に基づく宗教へのマイナスイメージが好転していくことや、また受講生が、生きる意味や自分自身の人生のあり方について、今一度見つめ直す契機となることを期待した。若干の表現の違いはあるものの、基本的に音楽学部生・短期大学部生に共通の内容となっている²。必ずしもシラバス通りではないが、準備した内容については、概ね展開できたと考えている。

II. 調査の目的と方法

まず、今回のアンケート調査の目的と方法、及び調査概要について述べておきたい。

1. 目的

現代の学生諸君の宗教意識についての傾向を把握し、合わせて、保育・音楽・美術を専攻する本学学生を対象とした授業内容や方法の改善のための手がかりとなればと考え、今回、宗教に関する意識調査アンケートを試みることとした。すなわち、本調査の主な目的としては、①教える側として、学生の宗教意識についての実態を把握すること、授業を通して、受講生の宗教意識に変化があったかどうかを把握すること、③授業テーマへの関心度を把握し、今後の授業改善の手がかりを得ること、以上三点である。本稿は、そのアンケート結果を記述したものである。今回の調査は初めての試みであり、十分な分析や結論付けを行うには無理があると考え、結果の記述に留めたい。なお、今回のアンケート調査結果を、本誌へ掲載する旨、受講生には、授業時に口頭で伝え、了解を得ていることを記しておく。

2. 方法

今回の宗教意識についてのアンケート調査は、2008年度の後期に開講された「宗教と人間」と「宗教学」の最終授業時に実施したものである。こうした学生を対象とした宗教意識についてのアンケートは、「宗教と社会」学会が、「宗教意識調査プロジェクト」として、1995年から2008年まで継続的に実施しており³、今後、データの比較を行っていくうえでも有効であると考え、アンケートの質問項目については、第1問から第5問までは、そのアンケート調査の質問票から選択した⁴。なお、第6問から第8問までは、報告者が今回のアンケート調査用に設定した質問項目である。アンケート方法としては、授業時に、アンケート用紙を配付し回答してもらい、報告者が直接、授業時間内に回収した。回収率は100%である。

3. 調査概要

調査時期：2009年1月

調査授業：音楽学部「宗教と人間」・短期大学部「宗教学 a・b・c・d」⁵

回答者総数：258名 有効回答者数：257名

² ちなみに、授業評価アンケートでの、当該授業への満足度は、5点満点で、宗教学c(美術科受講登録40名中36名が回答。以下、同様に示す)が、4.6(出席率高・4.6)、宗教学d(美術科46名中39名)、4.5(出席率高・4.6)、宗教と人間(音楽学部78名中60名)4.6(出席率高・4.7)であった。参考までに、大学・短期大学の共通科目の授業への満足度の平均値は、4.4である。なお、「宗教学a」(保育科108名受講登録)「宗教学b」(音楽科36名受講登録)については、アンケート用紙の不備により、正確なデータを得ることができなかったため、割愛した。

³ 「宗教と社会」学会・宗教意識プロジェクトによるアンケート調査の第1回は、1995年に実施され、以来2007年には9回を数えている。また、1999年からは韓国でも同様の意識調査を実施し、4回を数えている。プロジェクト責任者は、井上順孝(国学院大学教授)である。

⁴ 具体的には、手元にあった2001年度実施の「第7回アンケート調査報告」の質問票に基づいた。

⁵ 各授業の受講登録者数は、注2に示した。

無記名方式

調査票は、本稿末尾に掲載した。

III. 集計結果

以下、各設問にしたがって、各科・学部別に、クロス集計結果を見ていく。まず、第1問での、学科と宗教への関心であるが、表1のようなクロス集計結果となった。

表1 学科と宗教への関心のクロス表

学部・科	宗教への関心					合計
	信仰有	無信仰宗教関心有	無信仰少関心	無信仰無関心	無効回答	
保育科	度数	15	33	37	14	99
	学科の%	15.2%	33.3%	37.4%	14.1%	100.0%
音楽科	度数	1	11	9		21
	学科の%	4.8%	52.4%	42.9%		100.0%
美術科	度数	14	45	13	3	76
	学科の%	18.4%	59.2%	17.1%	3.9%	100.0%
音楽学部	度数	7	32	18	4	61
	学科の%	11.5%	52.5%	29.5%	6.6%	100.0%
合計	度数	37	121	77	21	257
	学科の%	14.4%	47.1%	30.0%	8.2%	100.0%

(有効回答数 257 無効回答数 1)

「現在、信仰をもっている」「信仰はもっていないが宗教に関心がある」のどちらかへの回答者を、宗教への関心がある者として合わせて集計すると、保育科 48.5%、音楽科 57.2%、美術科 77.6%、音楽学部 64%、全体の平均が、61.5%となっている。各学科・学部によつての差はあるが、全体として6割の学生が宗教に何らかの関心を有していることがわかる。

次に、第2問の、学科ともっている信仰(宗教)とのクロス集計結果は、表2のようになった。

表2 学科ともっている信仰(宗教)名とのクロス表

学部・科	信じている宗教					合計
	神道	仏教	キリスト教	新宗教	その他	
保育科	1	15	4	0	1	19(38.0%)
音楽科	0	2	1	0	0	3(6.0%)
美術科	1	10	4	3	1	18(36.0%)
音楽学部	1	6	3	0	0	10(20.0%)
合計	3(6.0%)	33(66.0%)	12(24.0%)	3(6.0%)	2(4.0%)	50(100.0%)

*本調査では、学生たちの宗教意識をなるべく幅広く把握することを目的としているので、第1問で「信仰をもっている」と回答していない者が、第2問で、何らかの宗教名を回答した場合も有効回答として、カウントしている。また、第2問への複数回答についても、そのまま有効回答としてカウントしている。

回答総数は、50で、そのうち、仏教を信じていると回答した者が、66%で最も多くなっている。

次に、第3問の学科と相談相手のクロス集計結果は、表3のようになった。

表3 学科と相談相手のクロス表

学部・科	相談相手					合計	
	仏教の僧侶	キリスト教の牧師, 神父など	神社の神主	街の占い師	その他の宗教家		
保育科	回答総数	22	31	14	25	1	83(39.7%)
音楽科	回答総数	7	6	6	4	0	21(10.0%)
美術科	回答総数	29	12	12	7	6	64(30.6%)
音楽学部	回答総数	12	18	4	11	0	41(19.6%)
合計		70(33.5%)	67(32.1%)	36(17.2%)	47(22.5%)	7(3.3%)	209(100.0%)

*複数回答した場合も、有効回答数としてカウントしている。

全体では、僧侶が、33.5%、牧師が32.1%とほぼ同じとなっている。しかし、保育科と音楽学部では、牧師を挙げたものが、僧侶・神主・占い師・宗教家に比べ高くなっており、それぞれ保育科37.3%、音楽学部43.9%である。その原因としては、音楽学部については、西洋音楽に親しみ学ぶ機会も多く、その作品に存在しているキリスト教思想についての関心も相対的に高いということが推測される。

次に、第4問の学科と神の存在のクロス集計結果は、表4のようになった。

表4 学科と神の存在のクロス表

学部・科	神の存在			合計	
	信じる	信じない	どちらでもない		
保育科	度数	85	12	2	99
	学科の%	85.9%	12.1%	2.0%	100.0%
音楽科	度数	18		2	20
	学科の%	90.0%		10.0%	100.0%
美術科	度数	44	29	1	74
	学科の%	59.5%	39.2%	1.4%	100.0%
音楽学部	度数	46	13		59
	学科の%	78.0%	22.0%		100.0%
合計	度数	193	54	5	252
	学科の%	76.6%	21.4%	2.0%	100.0%

*有効回答数252 無効回答数6

全体として、学生の76.6%が、神の存在を信じていると回答している。学部・学科別では、音楽科90%、次いで保育科が85.9%、音楽学部78%となっている。

次に、第4問の学科と仏の存在に関するクロス集計結果は、表5のようになった。

表5 学科と仏の存在のクロス表

学部・科	仏の存在			合計	
	信じる	信じない	どちらでもない		
保育科	度数	81	15	2	98
	学科の%	82.7%	15.3%	2.0%	100.0%
音楽科	度数	19		1	20
	学科の%	95.0%		5.0%	100.0%
美術科	度数	50	23	1	74
	学科の%	67.6%	31.1%	1.4%	100.0%
音楽学部	度数	41	17	1	59
	学科の%	69.5%	28.8%	1.7%	100.0%
合計	度数	191	55	5	251
	学科の%	76.1%	21.9%	2.0%	100.0%

*有効回答数251 無効回答数7

全体の平均は、76.1%。音楽科95%、保育科82.7%で、かなり高度合いとなっている。

次に、学科と靈魂の存在に関するクロス集計結果は、表6のようになった。

表6 学科と靈魂の存在のクロス表

			靈魂の存在			合 計
			信じる	信じない	どちらでもない	
学部・科	保育科	度数	88	10	1	99
		学科の%	88.9%	10.1%	1.0%	100.0%
	音楽科	度数	18	1	1	20
		学科の%	90.0%	5.0%	5.0%	100.0%
	美術科	度数	59	15	1	75
		学科の%	78.7%	20.0%	1.3%	100.0%
	音楽学部	度数	49	12		61
		学科の%	80.3%	19.7%		100.0%
合計		度数	214	38	3	255
		学科の%	83.9%	14.9%	1.2%	100.0%

*有効回答数 255 無効回答数 3

全体の平均は、83.9%。音楽科90%、保育科88.9%で、かなり高度合いとなっている。

次に、第5問の、学科と崇りの有無に関するクロス集計結果は、表7のようになった。

表7 学科と崇りの有無のクロス表

			崇りの有無			合 計
			ある	どちらかといえばある	ない	
学部・科	保育科	度数	48	38	11	97
		学科の%	49.5%	39.2%	11.3%	100.0%
	音楽科	度数	4	12	5	21
		学科の%	19.0%	57.1%	23.8%	100.0%
	美術科	度数	32	28	13	73
		学科の%	43.8%	38.4%	17.8%	100.0%
	音楽学部	度数	27	21	13	61
		学科の%	44.3%	34.4%	21.3%	100.0%
合計		度数	111	99	42	252
		学科の%	44.0%	39.3%	16.7%	100.0%

*有効回答数 252 無効回答数 6

「ある」「どちらかといえばある」を合わせると、全体で、83.3%となる。各科では、保育科が、88.7%で最も高い。

次に、第6問の、学科と宗教イメージの変化の有無に関するクロス集計結果は、表8のようである。

表8 学科とイメージ変化有無のクロス表

			イメージ変化有無		合 計
			変わった	変わらなかった	
学部・科	保育科	度数	66	31	97
		学科の%	68.0%	32.0%	100.0%
	音楽科	度数	17	2	19
		学科の%	89.5%	10.5%	100.0%
	美術科	度数	57	19	76
		学科の%	75.0%	25.0%	100.0%
	音楽学部	度数	36	21	57
		学科の%	63.2%	36.8%	100.0%
合計		度数	176	73	249
		学科の%	70.7%	29.3%	100.0%

*有効回答数 249 無効回答数 9

音楽科の89.5%を最高に、全体でも70.7%が、宗教に関してのイメージに変化があったと回答している。「変わった」と回答した者による自由記述からは、以下のような点が、読み取れる。すなわち様々にある回答内容からは、変化のあり方について、主に3つに分類できる。①仏教についての興味・関心が高まったもの、②宗教全般についての興味・関心が高まったもの、③その他、である。概ね、宗教に無関心であった者が関心を抱き始めたり、堅苦しいイメージから身近なものとなったとか、洗脳されるイメージがそうではなくなったという類の、マイナスイメージから、プラスイメージへと変化があったことがわかる。詳しくは、巻末の参考資料1(P.23～)を参照されたい。

次に、第7問の、テーマごとについて、興味を持たれた程度を、学科ごとにクロス集計した結果は、表9のようである。まず、学科と宗教概念整理のクロス集計結果は、表9に示す通りである。

表9 学科と宗教概念整理のクロス表

			宗教概念整理				合計
			大いに持てた	少し持てた	あまり持てなかった	全く持てなかった	
学部・科	保育科	度数	9	58	23	6	96
		学科の%	9.4%	60.4%	24.0%	6.3%	100.0%
	音楽科	度数	5	14	1		20
		学科の%	25.0%	70.0%	5.0%		100.0%
	美術科	度数	15	47	12		74
		学科の%	20.3%	63.5%	16.2%		100.0%
	音楽学部	度数	16	36	6	2	60
		学科の%	26.7%	60.0%	10.0%	3.3%	100.0%
合計		度数	45	155	42	8	250
		学科の%	18.0%	62.0%	16.8%	3.2%	100.0%

*有効回答数 250 無効回答数 8

「宗教概念の整理」という内容については、「大いに関心を持てた」が、全体の18%であり、五つのテーマの中では、最低の度合いとなっている。とくに保育科は、9.4%であり、各科の中でも最も低い。「大いに関心を持てた」と「少し持てた」を、関心を示したグループとしてまとめてみると、全体では80%である。保育科69.8%を除けば、音楽科95%、美術科83.8%、音楽学部86.7%と、各科・学部ともに80%を超えている。

次に、学科と親鸞の生涯と思想のクロス集計結果は、表10の通りである。

表10 学科と親鸞の生涯と思想のクロス表

			親鸞の生涯と思想				合計
			大いに持てた	少し持てた	あまり持てなかった	全く持てなかった	
学部・科	保育科	度数	13	63	17	5	98
		学科の%	13.3%	64.3%	17.3%	5.1%	100.0%
	音楽科	度数	8	12			20
		学科の%	40.0%	60.0%			100.0%
	美術科	度数	30	37	6	1	74
		学科の%	40.5%	50.0%	8.1%	1.4%	100.0%
	音楽学部	度数	20	32	6	2	60
		学科の%	33.3%	53.3%	10.0%	3.3%	100.0%
合計		度数	71	144	29	8	252
		学科の%	28.2%	57.1%	11.5%	3.2%	100.0%

*有効回答数 252 無効回答数 6

「大いに関心を持てた」が、全体で28.2%。各科では、美術科40.5%、音楽科40%、次いで音楽学部33.3%の順に高い度合いとなっている。「少し持てた」と合わせて、関心が持てたグループとしてみると、全体では、85.3%、各科・学部は、音楽科100%、美術科90.5%、音楽学部86.6%、保育科77.6%の順となっている。

次に、学科と釈迦の生涯と思想のクロス集計結果は、表11の通りである。

表 11 学科と釈迦の生涯と思想のクロス表

			釈迦の生涯と思想				合 計
			大いに持てた	少し持てた	あまり持てな かった	全く持てなかつ た	
学部・科	保育科	度数	16	64	14	4	98
		学科の%	16.3%	65.3%	14.3%	4.1%	100.0%
	音楽科	度数	8	11	1		20
		学科の%	40.0%	55.0%	5.0%		100.0%
	美術科	度数	27	36	12		75
		学科の%	36.0%	48.0%	16.0%		100.0%
	音楽学部	度数	20	34	5	1	60
		学科の%	33.3%	56.7%	8.3%	1.7%	100.0%
合計		度数	71	145	32	5	253
		学科の%	28.1%	57.3%	12.6%	2.0%	100.0%

*有効回答数 253 無効回答数 5

「大いに関心を持てた」が、全体で 28.1%。各科では、音楽科 40%、美術科 36%、音楽学部 33.3%、保育科 16.3% の順になっている。「少し持てた」と合わせて、関心が持てたグループとしてみると、全体では、85.4%、各科・学部は、音楽科 95%、音楽学部 90%、美術科 84%、保育科 81.6% の順となっている。

次に、学科とマザー・テレサの生涯と思想のクロス集計結果は、表 12 の通りである。

表 12 学科とマザー・テレサの生涯と思想のクロス表

			マザー・テレサの生涯と思想			合 計
			大いに持てた	少し持てた	あまり持てなかつ た	
学部・科	保育科	度数	83	15		98
		学科の%	84.7%	15.3%		100.0%
	音楽科	度数	14	5	1	20
		学科の%	70.0%	25.0%	5.0%	100.0%
	美術科	度数	56	17	1	74
		学科の%	75.7%	23.0%	1.4%	100.0%
	音楽学部	度数	46	11	2	59
		学科の%	78.0%	18.6%	3.4%	100.0%
合計		度数	199	48	4	251
		学科の%	79.3%	19.1%	1.6%	100.0%

*有効回答数 251 無効回答数 7

「大いに関心を持てた」が、全体で 79.3%。各科では、保育科 84.7%、音楽学部 78%、美術科 75.7%、音楽科 70% の順になっている。「少し持てた」と合わせて、関心が持てたグループとしてみると、全体では、98.4% となり、ほぼ全員が、関心を持てたテーマであったことがうかがえる。

次に、学科とアニメと宗教性のクロス集計結果は、表 13 の通りである。

表 13 学科とアニメと宗教性のクロス表

			アニメと宗教性				合 計
			大いに持てた	少し持てた	あまり持てな かった	全く持てなかつ た	
学部・科	保育科	度数	41	49	6	2	98
		学科の%	41.8%	50.0%	6.1%	2.0%	100.0%
	音楽科	度数	10	9		1	20
		学科の%	50.0%	45.0%		5.0%	100.0%
	美術科	度数	40	24	7		71
		学科の%	56.3%	33.8%	9.9%		100.0%
	音楽学部	度数	33	18	8		59
		学科の%	55.9%	30.5%	13.6%		100.0%
合計		度数	124	100	21	3	248
		学科の%	50.0%	40.3%	8.5%	1.2%	100.0%

*有効回答数 248 無効回答数 10

「大いに興味を持てた」が、全体で50%。各科では、美術科56.3%、音楽学部55.9%、音楽科50%、保育科41.8%の順になっている。「少し持てた」と合わせて、関心を持てたグループとしてみると、全体では、90.3%となり、かなりの割合で関心を持てたテーマであったことがうかがえる。

第8問に書かれた授業を受けての感想・意見についてだが、その内容は、①授業が自分の生き方等を考える上で役立ったという趣旨の回答群、②宗教や仏教に興味・関心が深まったという趣旨の回答群、③とくに授業のテーマに興味を示した回答群、④その他の回答群、に分類できる。①は、回答総数の中で33件(14.7%)、②は、同じく66件(29.5%)、③は、同じく52件(23.2%)、④は、同じく70件(31.3%)。授業が難しかったという感想や宗教に関心が持てなかったという感想が、若干数見られるものの、授業への否定的な内容の回答はなかった。詳細は、参考資料2(P.31～)を参照されたい。

IV. まとめ

最後に、1 宗教への関心、2 宗教イメージの変化、3 授業でのテーマの関心度、4 今後の課題、の4点から、2007年度に実施された「第4回日韓学生宗教意識調査」⁶(以下、「学生調査」)で示された日本の大学生に関するデータとの比較を交えながら、簡略にまとめておきたい。

1. 宗教への関心

- ① 「信仰をもっている」と回答した割合は、14.4%、「信仰はもっていないが関心がある」が、47.1%となっている。一方、2007年度に実施された「学生調査」では、11%が「信仰をもっている」と回答し、その内、宗教系大学の学生では、15.6%が「信仰をもっている」と回答した。また、「信仰はもっていないが関心がある」は、34.4%、宗教系大学では、28.8%となっている。今回の筆者の調査では、信仰がある者、関心がある者の割合を合わせると61.5%で、「学生調査」では、同じく全体として45.4%、宗教系大学が44.4%である。今回の調査は、後期の最終授業時に実施したため、「第6問」での自由記述に見るように、授業を通して宗教への関心に変化が出たことが推測される。
- ② 相談相手としては、「僧侶」33.5%、「牧師」32.1%、「占い師」22.5%となっている。一方、「学生調査」では、それぞれ18%、19.2%、10.6%である。
- ③ 神・仏・霊魂の存在を信じる割合は、各学部・学科ともに75%を超え、中には90%に達している学科もある。霊魂については、全体の平均でも80%を超えている。一方、「学生調査」では、神・仏・霊魂の存在を信じる割合が、神、仏、霊魂がそれぞれ、19.8%、17%、26.3%となっているから、本学の結果は、それよりもかなり高くなっていると言える。本学におけるこうした特徴の原因等については、今後の検討課題としたい。

2. 宗教イメージの変化

- ① 回答者全体の70.7%が、イメージの変化があったと回答している。音楽科が89.5%と群を抜いて高い。自由記述内容を列挙したが、そのほとんどが、堅苦しいイメージから身近なものへ、また興味関心の度合いを深めたものへと、肯定的なイメージを持つような変化が見られる。授業を通して、受講生の宗教イメージが好転した点は、本授業の目的の一つをある程度は達成した結果と受け止めたい。
- ② 宗教イメージの変化がなかったと回答した者の多くは、高校時代の学習時との比較に基づくものであった。

3. 授業でのテーマの関心度

テーマごとでは、関心が高かった順に、「マザー・テレサの生涯と思想」「アニメと宗教性」「釈迦の生涯と思想」「親鸞の生涯と思想」「宗教の概念整理」となった。「宗教概念の整理」は、プリントを中心に板書で行う授業であり、今後、授業方法を含めて、より関心を持てる内容となるよう検討すべき課題としていきたい。

4. 今後の課題

- ① 取り上げたテーマが、学科によって関心度が相違する点については、今後、継続的に検討し、各学部・学科の学生の関心に応じた教材・テーマの選択に配慮していくことが必要と思われる。また全般的に保育科の「大い

6
『第4回日韓学生宗教意識調査報告書』(編集責任 井上順孝)。日本では、2007年4月～6月にかけて、全国35大学から4,306名の有効回答を集計したものの。

に関心を持たた」の度合いが、他学部・学科に比較し、低い傾向が見られる。こうした結果については、保育科については、100名を超える大人数での授業であり、学生とのやりとりが他学科の授業に比べて難しいこと、「体育実技」の授業後の講義時間であったため疲労し居眠りする学生も散見されたこと、後期に実施される保育実習期間(11月)が、約一カ月間全くの休講状態となるため授業の流れが一旦途切れてしまう、など、テーマ以外に原因があることが推測されるが、なお今後も検討すべき課題としたい。

- ② 自由記述には、「身内…というか、母がとある宗教に入っていて、『すくわれる』ことに盲目的になっているのをそばで見ていたので、『宗教とは恐ろしいものだ』と思っていたが、もう少し親しみやすいものだと思うようになった。」という記述があるように、学生のなかには、授業を通して、宗教への抵抗感が薄まり、親近感を抱いた者もいた。ただし、こうした宗教イメージの変化は、授業の効果として肯定的に受け止めた側面と、一方で、いわゆるカルト宗教への警戒心が薄まるという危険があることも認識しておかなくてはならない。事実、自由記述には、「カルト宗教についての授業もうけてみたいです。」「人の心をこんなにも動かすことができるなんて、ますます『宗教』による思想はある意味恐ろしいなと思いました。」という記述もあり、今後、授業内で、カルト問題についても、テーマとして取り上げていく必要を感じている。そして、講義終了後の学生たちを、手放しにするのではなく、在学中はもちろん、卒業後も、宗教全般に関する相談窓口的な役割を、授業を担当した者の責任として果たしていきたいと思っている。
- ③ 本学学生の宗教意識の動向の変化等を継続的に調査することは、現代の学生諸君の宗教観のみならず、人生観等を知る上でも、有効な手がかりとなると思う。また、今後、同様の調査を、アンケート項目にも工夫を加えつつ、定期的を実施することで、授業の改善に役立てたい。

補記 アンケート調査のデータ処理は、「SPSS Ver.10」を使用した。なお、本稿を纏めるに際しては、田島忠篤氏(天使大学教授・宗教社会学)から、ご教示をいただいた。この場を借りて、厚く御礼を申し上げたい。

【参考資料1】

第6問の自由記述(回答総数239 無効回答数1 無回答18)

1. 「変わった」に○を付けた学生のコメント

学部・各科ごとに、①仏教へのイメージに関する回答群、②宗教全般へのイメージに関する回答群、③その他の回答群に分類して掲載した。誤字の修正以外は、原則として原文のままとした。

保育科

①仏教へのイメージに関する回答群

- ・最初は重苦しく何を信仰しているのかもよくわからないものだったが、仏教はシャカ様、親鸞の生き方を信仰するなど少しだけ得体の知れるものになった。
- ・仏の道は人を清らかにすると思った。最初は仏なんてと思った。
- ・仏がもとの人間だったということを知って、宗教が少し身近に感じました。
- ・仏教や釈迦はもっと固くて遠いものだと思った。
- ・釈迦様のおいたちを初めて知ることができ、すごい人だと思いました。
- ・私はキリスト教で、仏教のことが今までよくわからなかったから、良い勉強になったと思うから。
- ・この授業を受けるまでは宗教(家)=何かこわいというイメージしか持てなかったけれど、親鸞の人間らしさや釈迦が元は人間というのをきいて、少し親近感がもてた(おこがましいけれど…)。

②宗教全般へのイメージに関する回答群

- ・宗教の大切さがわかりました。宗教により助けられることがあると思った。
- ・初めは“宗教”について何となくしか考えていなかったが、奥深さを知り、生きていくうえで大切なことを沢山学んだ。
- ・どの宗教が素晴らしいとか、一番すごいとかではなく、宗教心、例えば道徳や思いやる心は宗教から学ぶこともあるんだなと思った。
- ・もっと堅苦しいものだと思っていたが、とても身近に感じられ、「宗教」というものは生きている中で関わるものなのだと思った。
- ・難しいものではなく、意外と身近なものだと思うようになった。
- ・堅苦しい感じがなくなった気がする。
- ・色々なことが宗教につながっていると思った。
- ・宗教とは身近に感じていなかったが、意外と身近なところで宗教のことが関わっていると知ったから。
- ・宗教は人の生き方を180度かえるものだなあと。
- ・宗教は命の大切さ・尊さ・人生の深さを感じるようになりました。
- ・もっと徹底して「欲を出してはいけない」だとか無償で良い事をするだとか考えていたけど思うよりも人間の事を考えた内容だった。
- ・信仰しようとは今でも思っていません。でも、それぞれの宗教の中にも人として生きるための大切なコトがあるコトに気付きました。
- ・宗教は考え方や生き方の指標やヒントになるようなものだと感じた。今までは、新興宗教とかの区別もなかったし、そもそも興味もなくて考えたこともなかった。
- ・「宗教」と聞いたら、前まではかたくるしいイメージがありましたが、授業を受けてみて奥が深いこと、そして結構身近にあるものだと感じました。
- ・最初は、宗教は難しく理解できないと思っていたのですが、授業を受けてみて、意外とわかりやすいと思った。また、生きる意味について学べた。
- ・少し近くなった気がします。
- ・かたくるしくないように思った。
- ・身近な感じがしました。
- ・宗教は身近な存在だと分かった。
- ・宗教というものが遠い存在ではなくなった気がする。

- ・“宗教”と聞くとなんとなく近寄りがたかったけど、意外と身近なもので学べるところがたくさんあるなあと感じた。
- ・宗教について学ぶことによりすごく堅苦しいイメージがあったけれどもっと身近なものだったんだというイメージにかわりました。
- ・“宗教”としてみるのではなく、一人間の“考え方”としてとらえるようになりました。
- ・宗教ってもっと暗いイメージを持っていたけどすごく明るいものなんだとわかりました。
- ・洗脳された人達の集まりかと思っていたが、実際は、そのようなものではないと思った。
- ・洗脳されてるみたいなイメージがなくなった。
- ・宗教=怪しいというイメージがあったが、全くそうではないと思った。
- ・宗教というと、どうしても勧誘に来る人が怪しいので、どこか怪しいものだなとかとつきにくいイメージを持っていたのですが、今はそういったマイナスイメージがなくなり、そういう人も居るのだなと考えるようになりました。
- ・宗教とは少し怖いイメージがあったけれど、なくなりました。
- ・今までは宗教は信じるのは怖いと思っていました。しかし授業を受けていく中で、何かを信じるのは人それぞれだし、それを否定するのはよくないと思いました。
- ・意外と怖くなかった。
- ・押しつけるというイメージが少しあったが、人の心を支えるものだと思った。
- ・宗教は固いイメージがあったのですが、「バガボンド」や宮崎駿作品にも宗教性があることを知り、イメージが柔らかくなりました。
- ・どのようにというか、どの宗教でも宗教を始めた人の人生ととてもかかわりがあるんだなと思った。
- ・「宗教」とは、今までは、ただ、“おおー、神よ”と祈るばかりのイメージがありました。しかし、この授業を受けて、「宗教」とは、信じる心や生きること、死ぬことなど、精神的なもので、人の心の中で思っているというイメージに変わりました。
- ・深い歴史があって、その上で成り立っているということ。関心が深まりました。
- ・宗教ごとにたくさんの教えや歴史があるのだと知った。
- ・色々な宗教の特色を詳しく知りたくなりました。
- ・うわべだけではなく、中身が深い。
- ・宗教とは奥深いんだなとおもった。
- ・とっても深いものだと思った。
- ・奥が深いんだなと思った。
- ・もともと宗教に興味はありましたが、更に興味が深まりました。
- ・以前まで全く興味がなかったけれど、他の宗教についても知ってみたいと思ったから。
- ・前は宗教について興味がなかったのですが、宗教には色々な意味があるのだなと思いました。
- ・今までは“なんでそこまで信仰できるんだろう”と思ってたけれど、信仰してる人の気持ちが少し分かったかも。
- ・今までは抽象的な理解しかしていなかったが、宗教に関係する人物の生涯などを学んで、思想などを知ることができ、イメージが具体的になった。
- ・宗教は祈るだけかと思っていたので、そうではないとわかったから。
- ・前まではあまり関心をもったことがなかったけど、前よりもつようになった。
- ・宗教というのはもっといろんな活動を起こしたりするのかなって思ってたけど、考え方の問題なんだなと考えが改められた。
- ・千と千尋とかバガボンドとかに使われているんだと思って宗教の影響がすごいと思ったから。
- ・神や仏、靈魂の存在を信じるようになった。

③その他の回答群

- ・初めて聞く話が多かったため。
- ・後世に影響を与えている人が生きた人生を知ることがなかったので、「こんな壮絶な人生を生きていたんだ」と

驚きました。

- ・生きることの考え方。
- ・信じることで前向きになりました。
- ・物の見方が変わった。
- ・親鸞やマザー・テレサ等のビデオをみたりして、1日を大切に生きようや、今を幸せに思わなきゃいけないと思った。

音楽科

②宗教全般へのイメージに関する回答群

- ・身近なものになった。
- ・かたくるしいものだと思っていただけ、意外と身近だと思うようになった。
- ・最初は宗教というと、かたくるしいイメージだったけど、身近なものだと感じた。
- ・宗教は遠い存在のような気がしてたけど、けっこう身近なものなんだなあと思いました。
- ・宗教＝洗脳的なイメージがあったけど、全然ちがうものだった。学ぶことが多く、すごく人間的なものだと思った。
- ・宗教は何か怖いイメージがあったが、今はそうは思わなくなった。
- ・宗教について深く勉強したわけではないけれど、世の中にはもっと深く宗教について学んで、考えてる人がいるのかあ、と不思議な感じになった。
- ・自分は宗教について全く興味がなかったけど、日常の生活で、気付かないうちに宗教と関係していることがたくさんあると知り、前より興味がある。
- ・授業内で様々なビデオを観たり学習したりして、宗教は幅広いものだとわかった。自分の身近にたくさん宗教に関係しているものがあるということを改めて実感した。
- ・最初はあまり宗教について知らなかったけど、宗教がどのようにしてできたのか、どのように伝わって今に至っているかなどがわかった。
- ・ビデオを通して、いろんな世界の人たちの宗教の思いや信仰心を見て、宗教のイメージが少し変わったような気がします。
- ・偉人たちの強い思いを知り、さらに深く宗教に関ることができたと思いました。
- ・まだ、宗教ってどんなものなのか完ぺきにわかっていませんが、見方がかわった気がする。
- ・つまらないかなと思っていただけ知らないよりは知っていたほうがずっと良い内容だと思った。

③その他の回答群

- ・信仰を持っている人は、祈りの時間を毎日必ず作っているが、私には、そのような時間は作れないと思った。
- ・みんな努力をしている。

美術科

①仏教へのイメージに関する回答群

- ・今までよりも親鸞聖人やブツダの人生や生き様を知って、神と言われている人たちも一人の人間だったのだと知り、親しみやすくなった。
- ・やはり宗教(ブツダ)の教えはすばらしいと再認識しました。
- ・親鸞の考えを聞いて、宗教というのは単に神仏に盲信的になることではないのだとわかった。
- ・この授業を受けて仏教への考えが変わった。あまり信用していなかったが親鸞の事を学んで深くもっともっと知りたいと思うようになった。
- ・“大事なのは、ただ信じる事のみ”というとても簡単な親鸞の教えにふれた事によって、仏教を堅苦しいものと考えなくなった。
- ・前はさとりやの境地とかいって、自分とのたたかい(自分の家は仏教だが)どうのって、なんだコレ?とか思ってたけど、今はものすごい仏教に対して、興味をもった。
- ・仏についてよくわからなく、神と同じかと思っていたけど違うことがわかり、それにともなって仏教について

もイメージが変わった。

- ・仏教の事に関していうと、親鸞の存在を知ったおかげか、少々なりとも広い目で見れるようになった。
- ・親鸞は生まれつき特別な人だと思ってたのですが、報恩講や仏教講演会や授業・ビデオで、すごく苦勞して悩んでまよって仏の道を選びとりをひらいたということがわかり、とてもおどろいたし感動しました。
- ・もっと気難しいものだと思っていたが、ブツダとかもふつうの人間で悩んで生きてたことを知り、身近に感じることができた。
- ・親鸞の教えについてくわしく理解できた。

②宗教全般へのイメージに関する回答群

- ・ただ何かの宗教に入って信仰することだけではなく日常の中にも宗教が絡んでいるのを知りました。
- ・元から宗教について、固定されたイメージは自分の中になかったのだけれど、授業を受けたら、自分が知っている宗教っていうのは表層だけだったのだなと思った。
- ・「宗教」というものは自分とはかけ離れたところにあるものだと思っていた。しかし、この授業を受けて、「信仰を持つ」ということは自然なことだし、意外と身近なものだと思った。
- ・宗教は難しいものだと思っていたけれど、この授業を受けて、「けっこう身近なものなんだなあ」と感じた。
- ・宗教とは厳しい制約がある、何となく怖いものだと思っていましたが、親鸞についてのビデオやカール・ペッカーさんのビデオを見て、取っ付きやすく、身近なものであるのだと気がきました。
- ・宗教ってもっとかたくなるしいイメージがあったのですが、結局は人の生き方とか考え方のちがいのかなと思いました。
- ・宗教は自分には全く関係のない世界のことのようにでしたが、少し近付けた気がします。
- ・難しいものではなく、日常や意外なところにも通じる身近なものだと思った。
- ・相変わらず、神様だとか、仏の存在を信じることはできないけれど、少し、身近に感じることはできました。
- ・宗教に対して堅苦しいイメージしかなかったけれど、マザー・テレサや親鸞のビデオを見て、そうでもないと思いました。
- ・宗教は、私たちにとってとても遠い存在だと思っていました。授業を通して宗教は日本の行事やお祝い事に密接にかかわっていることを知り、今は身近に感じています。
- ・宗教といっても、雲の上の神様を信じるのではなく、実際に存在して、この世を生きた人からの教えを信仰する感じ方があると考えさせられました。どちらかというところがめるといふより尊敬すると思う気持ち。
- ・どことなく神秘的なものと感じ、少しだけ人間に近いものを感じた。
- ・宗教というものは人を救ってくれるものだと思うようになりました。
- ・宗教は一人よがりの怪しいものではなくて人と人とのつながりで成り立っている。
- ・「宗教」と聞くと、前はうさんくさいイメージが強かったのですが、授業で親鸞やブツダの生い立ちを見ていくとこれが本当の「宗教」なんだと思いました。
- ・新興宗教は悪いイメージしかなかったけど、悪いイメージの団体が目立っているだけで実際はそうでもなかったということを知った。
- ・めんどくさくて嫌なイメージがあったが、そうでもなくなった。
- ・「宗教」は怖い、暗いというイメージがなくなりました。
- ・この授業を受ける前は、宗教に対して、集団で変な動きとかをしているイメージしか持っていませんでしたが、もっとまともな感じだったのでよかったです。よいイメージに変わりました。
- ・今まで宗教と聞くと良いイメージではなくて…洗脳させるというか…そのような感じだと思っていたけど、そうではないという事を知れたので少し考えが変わった。
- ・授業をうける前は、一部「宗教はこわい」と言うイメージがなぜかあったけれど、そういう事はないんだなとわかった。
- ・宗教は人を悪くしているようなイメージがあったが、そうでもないことがわかった。
- ・ただ信仰するだけの団体だと思っていたが、そこには深い意味があることを知り、感じかたが変わった。
- ・自分の中でのイメージが良くなった気がしました。
- ・宗教と聞いて一番にイメージするのは、なんとなく気味が悪いというものだったが、今はもっと理解を深めた

いと思うようになった。

- ・限られた少数の人たちだけが、宗教を信仰していると思っていましたが、大勢の日本人にも、実は「信仰心」をもっていることを知りました。
- ・宗教は信仰心のある人に対しての教えだと思っていたけど、信仰がない人でも参考になることがたくさんあるという考えになった。
- ・以前は、あまり宗教に関心を持たなかったけど、最近、それに関係する本を読んだり、番組をみたり、月に一度きてくれるお寺の人がおいていく広報誌とか読むようになった。
- ・全然興味もなかったのに、宗教にひかれていった。
- ・神や仏というものはまったく空想なのかと思っていたけど、かつては存在した人たちのことをたたえているようなものなのかと思えたのでよかった。
- ・様々な宗教に関するビデオやプリントを見る中で、宗教がもっている人々に与える影響の大きさがすごいものなのだというイメージが変わった。
- ・一言で宗教と言っても色々な物が関連していて、私は信仰していないと思っていても、どこかに信仰していたりとおもしろくなった。
- ・宗教にすぎるのは嫌だけれども、自分が人生で迷ったときの参考になると思った。
- ・日常の中で必要ないものだと思っていたが、悩んだ時、道しるべとなる様な物だと思った。
- ・宗教＝信仰というイメージをもっていたが、思想や学問としての意味をもっているように、今は感じている。民族による差異を示すときの一端のような。
- ・宗教ははば広いと思った。
- ・身内…というか、母がとある宗教に入っていて、「すくわれる」ことに盲目的になっているのをそばで見えていたので、「宗教とは恐ろしいものだ」と思っていたが、もう少ししたしみやすいものだと思うようになった。
- ・宗教を信じる人が、他の人にどうやって信じさせるかというより、その宗教の道をとく人を信じられるかどうかだと思ったから。
- ・人の心をこんなにも動かすことができるなんて、ますます「宗教」による思想はある意味おそろしいなと思いました。

③その他の回答群

- ・親鸞やマザー・テレサなど、神や仏を信じて生きた人を私は違う次元の人間だと思っていた(同じ人という認識がなかった)。授業でビデオを見てその人の生涯を知ったことで、彼らも自分と同じ人間だということがわかったし、理解することができた。そこが変わったのだと思う。
- ・命や、人の生き死に、を前より考えるようになり、自分の生き方も少し考えるようになった。
- ・先日の授業の中で取り上げた「千と千尋の神隠し」のようにちょっとした仏教思想が見え隠れしていたりして、それからは文学作品、小説などを細かに読みとこうとしている自分がいました。
- ・神様はいないけど神様みたいな人はいる。
- ・なんとなく？
- ・変わったというよりか、宗教のことをあまり、けっこう知らなかったのだから、授業を受けて学ぶことができた。

音楽学部

①仏教へのイメージに関する回答群

- ・高校がキリスト教だったので、仏教の知識があまりなかったので考え方とかよくみえて良かった。
- ・宗教というか、仏教のイメージがただ念仏をとこなしているだけだったので、深く知れてよかった。
- ・親らんがスゴイ人だとわかって、尊敬するようになった。
- ・仏教に興味がわいた。
- ・仏教はもっと堅苦しいと思っていたけれど、意外と教えを伝えている人も人間らしい部分があると思いました。
- ・仏教のことはよくわからなくて、仏なんていないと思っていましたが、親鸞の生い立ちなどを知り、考えが少し変わった。
- ・仏も苦しいことだらけだった。

- ・仏教=葬式のイメージが強かったが、成立経緯、理念を理解することができた。

②宗教全般へのイメージに関する回答群

- ・信じるものがあるっていう事が良いと思うようになりました。
- ・宗教は神様とか仏さまとかは信じていないけど、生き方とか死のこととかそういうことを考えるのは必要なあとと思ってきた。
- ・思っていたよりも「宗教」って大きいものだったとしり、イメージが少し変わった。もっとかたい感じのものだと思ってた。
- ・思っていたよりも親しみやすかった。
- ・高校の時よりも親鸞のことやブツダのことをよく知れたと思うし、先生の話、プリント、ビデオを通して、たくさんの方の考え方に触れ、宗教は身近なものなんだ、かたくるしくないな、と改めて思った。
- ・そもそも宗教というものがあまりにも漠然としていて今までよくわかっていなかった。宗教を通して生きること、人間ということについて考えるようになった。
- ・自分の中で前までの宗教のイメージは、「堅くて得体の知れないもの」だったが、もっと柔らかくなった。身近なものになった。
- ・遠い存在、自分にはあまり関係ないことから、身近で、生きていく上で大切なこと。
- ・宗教というものに、前は距離をおいていた所があったけれど身近に感じるようになりました。
- ・難しいイメージがあった宗教だけど、話を聞いて違うことがわかった。
- ・興味深くなった。
- ・宗教は一歩まちがえれば危ないけど、時に人々を救うものだと思った。
- ・宗教の中身を知れた。
- ・最初は全然興味がない部分もあったけど、凄いだんだん興味をもてた。
- ・いろいろな考えや道があるんだなとは思った。でも宗教は良いと思うけど仏や神を信じるようにはなれなかった。
- ・知ってるようで知らないことのほうが多くて、興味・関心をもった。
- ・興味深い内容が多く、おどろくことが多かった。
- ・今まであまり関心がなかったのは、宗教についてあまり良いイメージを持っていなかったり、関わる機会がなかっただけで、今は仏や神に助けを求める気持ちを少し理解できたと思いました。
- ・変わったというより、視野が広まった感じ。世界中には、様々な考えや宗教を持った人がいるんだなあとと思った。
- ・今まで深く考えたことがなかったけど、どのような思想があって、そんな人が考えたなどがわかって興味深くなった。
- ・特に何も考えていなかったけど、多少なんらかを考えるようになった。
- ・前よりも関心を持つようになった。
- ・理解が深まったという変化がありました。そして宗教はちょっと暗いイメージがあったのですが、授業でのビデオでイメージで明るく変わった気がしました。
- ・まず、様々な宗教に信仰している人の思いなどをしれたこと。生半可な気持ちで宗教を信仰しているのではないと思った。

③その他の回答群

- ・変わったというよりも色々な授業内容で宗教ということを知らなかったのが少しわかった。
- ・高校などで学んだことを更に展開されたので、自然と興味をもつことができ、しっかりと学んだつもりなので。
- ・高校の時はほとんどブツダのビデオだけだったけど、爆笑問題など、ふつうの人々も宗教について語ってるのがおもしろかった。
- ・生き方や価値観、「生かされている」という考え方やものの見方が変わりました。
- ・世界観も変わって、生きることについてよく考えるようになった。人生が変わった(大きさに言うと)。

2. 変わらなかったに○を付けた学生のコメント(()の数字は、同様の回答数を示す。)

学部・各科ごとに、①高校以前に宗教の授業があったという回答群、②宗教への興味がないからという回答群、③元々宗教に関心があり、そこからの変化がないという回答群、④その他の回答群に分類して掲載した。誤字の修正以外は、原則として原文のままとした。

保育科

①高校以前に宗教の授業があったという回答群

・高校の宗教の授業で同じようなことを学んだから。(他に4)

②宗教への興味がないからという回答群

・元から宗教に興味がないから。(他に6)

③元々宗教に関心があり、そこからの変化がないという回答群

- ・変わらず、すごいなあと思っています。
- ・自分の知識や観念とほとんど同じだったため。
- ・宗教というものは、とても大きく未知だから。生き方や考え方はすごいと感心はできました。
- ・やはり神はいるのだなと思ったから。
- ・もともと持っていたイメージが同じだったからです。ですがより深く知れたのでイメージが深まりました。
- ・信仰持っているから。
- ・今までも信仰していたし、これから先も信仰していくから。

④その他の回答群

- ・仏の話は興味深いけど、宗教に対する考えまで変わることはなかった。
- ・宗教の中身は分かったが、イメージはあまりかわっていない。
- ・すごいなあとは思ったが、イメージは変わらなかった。
- ・ずっと前から宗教に入信している人は、頭がおかしい人たちという固定観念があり、宗教に対して嫌悪感しか抱いていなかったからです(きっかけは自分でもわかりませんが…)。
- ・宗教はやはり身近なものではなく疎遠であるようなイメージが抜けなかった。
- ・授業で聞いていた話はとても興味深かったのですが、自分の気持ちが変わるのとは違うかなと思います。
- ・やはり無宗教の自分的にはかたくるしいイメージがぬけない。
- ・宗教もひとつの考え方であった、特に何かが変わるということはないと思う。
- ・もともといいイメージも、悪いイメージもなく、偏見もないから。
- ・宗教にとくにイメージありません。

音楽科

④その他の回答群

・宗教をもつ気にはならなかったから。

美術科

①高校以前に宗教の授業があったという回答群

・高校の時に習ったことだったので、あまり変わりませんでした。(他に4)

③元々宗教に関心があり、そこからの変化がないという回答群

- ・元々宗教の考えに興味があり、自分が思っている宗教に対する見方や考え方についてはさほど変わらなかった。でも、まだ自分の理解の足りない所があるように思っています。
- ・元々信仰を持っているので「宗教」に対してのイメージが変わるようなことはなかったから。
- ・自分の考えている事と共通している所が結構この授業にはあったため。
- ・最初から死後の世界があると考えているから。
- ・前にも同じ授業を受けていたから。外から見たらうさんくさい宗教でもその人にとって支えになったり、良い影響をあたえるものなら良いと思うって考えは変わらなかった。

- ・今まで、宗教の勉強をしてきたので、大きくイメージが変わったとは言えません。人生を裕にする宗教もあれば、人生を壊してしまうような宗教があるというイメージを持っています。
- ・宗教とは人の心を支えゆたかにするものであり、決してすがってばかりいるものではないとおもっているから。悟りをひらいた人も変わった人も自分で悩み考え行動したからだと思います。
- ・自分の中に既に信仰があったから。

④その他の回答群

- ・「宗教」が出来たことの良さがよくわからない。人間が抱える問題の根本となるものは過去も現在も大して変わらないから、過去出された答え(宗教)を当てはめることで悩みから脱する…というのが個人的には好きではない。
- ・悪いことでもないと思ってたし、別に信仰してどうなる訳でもないと思ってて、授業を受けても考えは変わらなかった。
- ・何かを信仰した事がないので、物語りを聞いている気分とかわりませんでした。感心できる部分と私はそうは思わないと思った事があったので、絶対的な信仰心をもつって体力いるなと思いました。
- ・変わった感じはしなかったが、興味がわいた。
- ・さらに興味深く感じたので、つまらないとは思いませんでした。
- ・関心は深まったが、元々信仰を否定していないからイメージは変わらなかった。

音楽学部

①高校以前に宗教の授業があったという回答群

- ・中学から大谷なので、印象としては変わらなかったのですが、さらに感心が深まりました。
- ・高校の時から宗教があったので。(他に5)

②宗教への興味がなかったという回答群

- ・興味がなかったから。やらなくてはいけないとは思わないから。

③元々宗教に関心があり、そこからの変化がないという回答群

- ・宗教に対するイメージは前々からある程度知っていたので変わりませんでした。でも、宗教者(家?)に対するイメージは授業でのビデオを通して変わりました。思っていたよりもずっと強かったということが印象的でした。

④その他の回答群

- ・仏教の考えはやっぱり難しく理解しがたい。
- ・自分はキリスト系なんで、それにはかなわないっす。ちなみにプロテスタント。自分の考えではキリスト教は宗教じゃないっす。キリストに似て生きようってライフスタイル。キリスト教って言ったら宗教の一つみたいでやだ。オレはキリスト教をしんこうしているわけではなく、キリストに似て生きるライフスタイルをつらぬいているだけ。
- ・神の存在についてよくわからなかったため。
- ・自分のイメージや考えを大きく変えることはなかった。
- ・神はいるが、霊はいない。
- ・物事をどうとらえるか。どう考えるか。だからこう考えている人もいるんだと知識として増えただけ。
- ・色々知識を得たが、イメージが変わるほどのポイントがなかったから。もともと否定もないし信じていないわけではなかった。
- ・難しいからなかなか奥へ入っていけない。

【参考資料 2】

第 8 問の自由記述(有効回答数 224 無回答 32 無効回答数 2)

学部・各科ごとに、①授業が自分の生き方等を考える上で役立ったという趣旨の回答群、②宗教や仏教に興味・関心が深まったという趣旨の回答群 ③とくに授業のテーマに興味を示した回答群 ④その他の回答群に分類して掲載した。誤字の修正以外は、原則として原文のままとした。()の数字は、同様の回答数を示す。

保育科

①授業が自分の生き方等を考える上で役立ったという趣旨の回答群

- ・宗教について学べたのはもちろん、自分の生き方を見直すことができた。
- ・親鸞、釈迦、マザー・テレサの人生や生き方について学び、共感をもてたり、尊敬したい部分がたくさんありました。特にマザー・テレサは貧しい人々のために手助けをしていたので、私も困っている人がいたら自分から助けるように心がけたいです。
- ・もっと難かしく、大変な授業だと思っていましたが、とてもわかりやすく、命の大切さなどについて学べてよかったです。
- ・始めはそんなに面白くないのかなと思っていただけ、ビデオとか学ぶこともたくさんあってためになるものばかりでした。半年間ありがとうございました。
- ・仏教もキリスト教もそれぞれ納得できたり同感できる部分があれば、全く正反対の考えだったり自分の視野が広がっていく気がして、とてもためになりました。本当に楽しかったです。
- ・自分に宗教はあまり関係ないと思っていましたが、知らないうちに自分とも関わりがあるという事に気付きました。
- ・最近は何となく肩こりのイメージでしたが、人生に役立つと思った。
- ・普段はすっと流してしまうようなことを、改めてじっくりと考える良いきっかけになりました。ありがとうございました!!
- ・ビデオなどをみて、色々な人がそれぞれの信仰について、深く、関わって、それぞれの生きぬく信念をもって必死だと思った。生きているときになにかそういうものをもったり、目的に向かっていくのはすごく大切なことだと思った。
- ・人の人生を学ぶことやそれを学んで何かを感じることは大切だと思った。
- ・この授業では、気持ちが前向きになりました。

②宗教や仏教に興味・関心が深まったという趣旨の回答群

- ・今までは、自分の家の宗教など、あまり意識していなかったけれど、この授業で理解が深まり、興味ももてるようになりました。
- ・マザー・テレサやアニメをやったことで、少し、宗教というものに目が行ったと思う。
- ・ビデオを見て、感動したり、宗教に関心をもてた。
- ・宗教や親鸞には全く興味はないが、信仰する人の気持ちは少しはわかった気がする。
- ・宗教学を勉強できてよかったです。宗教のこと詳しく知れたからです。
- ・日本人の宗教への考え方や、意識の低さを知った。神社でバイトしてたら「私、仏教じゃないから…」って言ってた参拝客の方がいて、神道なのに…って思った。そういうことに気づいたり意識するようになったのは、この講義を受けたからだと思う。
- ・遠い存在だった、宗教を身近に感じれてよかったです。
- ・色々な仏を教えを見たり、学んだりして、高校でやったよりも深く関心を持つことができてよかった。
- ・もっと難しい内容の授業をイメージしていましたが、ビデオなどで、わかりやすく勉強できました。宗教について興味が深まって良かったです。
- ・中村久子さんが大変印象的でした。宗教に関心がもてました。
- ・最初、宗教を誤解している部分があったのですが、授業を受けて宗教を信仰して精神的に助けられる事もあるのかなと思いました。
- ・いろんなところで宗教がかかわってるんだなって思いました。

- 宗教に関する人について知れてよかったです。
- 宗教にちょっと興味をもてました。いろいろな考えを知ることが出来てよかったです。
- 宗教について以前より深く知ることができた。これからも勉強したいと思う。
- 哲学と少し似ている部分があって、楽しかったです。ビデオを見ることで宗教についてイメージしやすかったです。
- 宗教は深いなあと感じた。(他に1)
- 先生の見せてくれるビデオがとても印象的で心に残りました。生と死についてよく考えました。死は終わりではない。
- 前よりは宗教に興味をもてた気がしました。ありがとうございます。

③とくに授業のテーマに興味を示した回答群

- マザー・テレサについて知れたのが良かったです。
- この学校の宗教についてのみ学ぶのかと思ってたけどマザー・テレサのことを学んだり、マンガや映画など身近なもので学べたりと楽しかったです。
- 映像を見ることが多く感じました。なので、とても分かりやすかったです。『バガボンド』、いつか読んでみたいと思いました。
- マザー・テレサのビデオがとても感動しました。宮崎駿の作品をもっと見たかったです。
- 色々な宗教を学べてよかったです。
- マザー・テレサのとき、すごく感動した。千と千尋のかみかくしにも仏教がかかっているんだなと思った。
- ビデオは、わかりやすく理解でき、よかった。アニメ、マンガからも宗教性を学べるのは、楽しかった。
- ジブリ映画にも宗教的要素が含まれていて、いろんなところに大きな影響を与えていることがわかった。
- マザー・テレサの生涯や思想を知ることができてよかったです。
- やっぱりマンガやアニメとのつながりがすごいと思った。つながりを知ると深くておもしろい。
- マザー・テレサはすごい人だということが心に残っています。難しいものかと思ったけど、楽しい授業でした。
- 宗教にはあまり関心がなかったのですが、釈迦の生涯のVTRがとても興味深かったし、マザー・テレサのVTRでは命の大切さや愛情の大切さについての意識が深まりました。
- マザー・テレサのVTRが一番印象に残ってます。本当に素敵の人だと思う。
- 千と千尋の神かくしにも宗教が関係しているなんて驚きました。今すごしている普通の生活を、私達は普通と思っているけど、とても幸せだと気づかされました。
- 親鸞さん、マザー・テレサは自分に敵しい人だと思った。普通の人にはできないことをした人だと思った。
- 宮崎作品に見る宗教性がすごく興味をもてた。宗教の不可解さが少しうすれた気がする。
- マザー・テレサの生涯が一番心に残り、あのビデオが欲しくなりました。宗教とはまず人を愛するという所からはじまっているような気がしました。
- マザー・テレサとかは、興味があった。
- マザー・テレサの話が印象的だった!! 貧しい人たちの力に少しでもなりたい。
- 宗教は昔学校の授業でやっていたのでわかったけど、「千と千尋」はこうゆう宗教に関わった物語だとは知らなかったから、勉強になった。
- この授業では「死生学」も取り扱うということで、その面は興味をもてました。
- 毎回ビデオが楽しみだった。特に感動したのは女性歌手の最期の生き方について。あれは泣けた。人が亡くなるのって、はかなくて悲しいと思った。
- 釈迦の生涯とマザー・テレサの生涯の回の授業がおもしろいと思った。
- 仏教だけでなく神道をもっとくわしくやってほしかったなと思いました。興味あるので。でも大谷なのでしかたないですね。興味のもてる授業でとてもよかったです。
- とても人間的なことが多いと思いました。人の信念や思いが多くとり上げられていて、とても興味深く感じた。
- ビデオを見たり、プリントがいっぱい配られたりして良かった。授業のテーマもあって何について勉強しているのかわかった。

④その他の回答群

- ・ビデオを見たりして楽しく学べました。
- ・ビデオを沢山見ることができ、その後に先生の解説を聞くことができ、理解が深まりました。しかし、プリントはもう少しわかりやすいものにしていただければよかったと思います。ありがとうございました。
- ・たくさんビデオを見たり、色々なところに宗教性があるのだなと思いました。
- ・最初はよくわからない授業だと思っていたのですが、哲学の授業と少し似ていておもしろかったです。ありがとうございました。
- ・今まで知らなかったことを勉強できてよかった。
- ・先生の笑顔にいやされました(笑)。前半のようにクラスを二つに分けて授業したかったです。
- ・毎回ビデオを見せてもらったから、ためになったし、記憶に残った。
- ・たのしかったです。(他に2)
- ・ビデオなどで具体的に知ることができるのでわかりやすく、関心も持ちやすかったです。
- ・今の時代では、考えられない程、多くの人が信仰して頼っていたことを知り、今は色々なものが進化し便利になったことで、困ることも減り、神や仏に対し信仰が減ったのではないかと思います。
- ・不思議なビデオをたくさんみたりしたけど楽しかったです。
- ・実際の事件や私達の私生活から例をとりあげての説明がわかりやすかったです。
- ・宗教は難しいと思いました。しかし毎回見るビデオはタメになり勉強になり、おもしろかったです。
- ・身近な問題をとり上げて下さったり、感謝する気持ちを大事にする心などが伝わってきて、誠実な授業を拝聴させて頂いた。どうもありがとうございました。
- ・ビデオを見ることで文字で説明されるより、理解しやすかったです。仏教の大学だからこそ深く学べたと思います。
- ・宗教学は、内容は興味を持てるけど根本が難しいから難しかった。
- ・この学校に来て、宗教学を学び、少し難しかった部分もありましたが、学べてよかったです。
- ・宗教学は少しむずかしかったが、この大学に入って様々な人物の思想などについて学べて良かったです。
- ・今まで話を聞ける機会があまりなかったのととても為になりました。ありがとうございました。
- ・宗教って奥が深くてむずかしいと思いました。
- ・色々なビデオをみてとてもタメになりました。
- ・私は宗教とはこれまでとかわらない距離間でいようと思います。
- ・毎回席がかわるのは良いと思います。後期15回ありがとうございました。
- ・あまり宗教に興味もてなかった。
- ・席を指定するのはあまり効果が無いように思えました。
- ・やはり少しむずかしいことで考えなどがよくわからなかった。

音楽科

①授業が自分の生き方等を考える上で役立ったという趣旨の回答群

- ・授業を通して親鸞にとっても興味をもった。これからの人生の生きかた考え方が少し変わった気がする。
- ・いろいろなことを考えさせられる授業だったと思います。
- ・信仰を持つ気持ちがありませんが、マザー・テレサのようなボランティアには参加していきたいと思う。

②宗教や仏教に興味・関心が深まったという趣旨の回答群

- ・宗教をつくりあげた人々の生涯を知ることができ、とても勉強になった。
- ・「宗教」というとかたいイメージがあって、なかなか理解するのが難しそうだと思っていたけど、この授業のおかげで考え方が変わった。楽しかったです。
- ・「宗教」という言葉はなかなか身近に感じることはなかったけれど、授業を通して宗教の幅広さを知り、今後は少し宗教に敏感になりそうです。楽しい授業でした。
- ・とても楽しい授業で宗教に関心が持てました。
- ・一講目からの授業だったので、辛かった日もありましたが、少しでも宗教のあり方とかを学ぶことができたの

で、とてもよい時間になりました。授業中に私語が多かったのが、学生としてとても悲しかったです。

- ・“宗教”というのは知っているつもりだったが、授業を受けてみて、奥の深いものだなあととても勉強になったし、興味を持てた。

③とくに授業のテーマに興味を示した回答群

- ・マンガとかにも宗教が関わっているのに初めて気づきました。知らないうちに私達も宗教中心な生活をするのだと思いました。

④その他の回答群

- ・あまり授業にでれないことも多かったけど基本興味のある分野なので楽しかったです。
- ・色々な人が自分の力で道をきりひらいていく姿がすばらしかったと思う。
- ・朝早くて遅刻もたくさんしてしまったけど、内容は面白くビデオなどで考えさせられる部分が多くあり、とても勉強になりました。
- ・朝じゃない時間帯がよかったです(笑)。
- ・中国の宗教の方が学んでみたかった。宗教そのものよりも宗教の歴史を学びたかった。
- ・ビデオや資料などわかりやすい授業で良かったと思います。ただ一講目は眠いです。
- ・ビデオとかを見て、その話などを先生がしてたりしたから、おもしろかったです。

美術科

①授業が自分の生き方等を考える上で役立ったという趣旨の回答群

- ・とても立派で、全く違う世界にいるように感じられた神と呼ばれる人たちも、私たちと同じように悩み、迷う一人の人間なんだと授業を通して思いました。彼らと同じように、悩みながらも自分の道を見つけることができると思います。
- ・先生の授業は分かりやすく、勉強になりました。宗教という授業が楽しくもあり、学ぶ事がたくさんありました。為になる授業をありがとうございました。
- ・親鸞、釈迦、マザー・テレサの生涯を学び、自分の生き方と比べて考えさせられた。自分の生き方について考える良い機会になった授業だった。
- ・宗教は信仰のない人々から見れば無縁のように思いがちですが、信仰のない人々にとっても心が整理されるので結構必要な授業だと思った。
- ・今までふみこみづらかった分野だと思っていたのに、学んでみるととても自分に必要なことを沢山知ることができました。他の宗教についても、今後調べていきたいと考えています。
- ・普通に過ごしているとなかなか考えない事をこの授業を通して考えたり見たりしたのでいい機会を与えてもらったと思い、感謝しています。
- ・宗教というより、親鸞やマザー・テレサの生涯や思想に興味を持ちました。他人の人生にふれることは、自分の人生にもプラスになると思います。この授業は、そういう意味でいい授業だと思いました。
- ・自分の生き方について考える時間が持てたと思う。
- ・色々な事を考えさせられ、感動をくれる授業だなと思います。とてもいい授業でした！
- ・生きてく楽しみと苦しみを改めて実感できました。人生って本当に奥が深いと思いました。楽しかったです！
- ・はじめの前は必修で宗教学とかありえないって思ってたけど、勉強するにつれて、日本の文化に根づいている部分もたくさんあると知れたり、ブツダなどの人を知り、すぐく身近に感じることができた。心の視野も広がった気がする。
- ・この授業では、人生を豊かなものにする宗教の勉強をしたと感じています。授業で学んだ事を活かし、しっかりと強い意志を持って生きていこうと思いました。
- ・なんとなく生きている自分の生き方を見直すきっかけになった授業でした。

②宗教や仏教に興味・関心が深まったという趣旨の回答群

- ・宗教は堅苦しくて面倒なモノなのだと思っていたが、この授業でビデオや資料を元に楽しく気楽に学ぶことができた。宗教というモノが身近に感じられるようになった。
- ・宗教にしろ、何にしろ、倫理が混ざっていることにおどろきました。

- ・今回この授業をうけて、人によって宗教が人を救うというよりは、その信仰を信じる人が他の人にどういう行動をとっていかで信仰というのは生れるのかもしれないと考えました。
- ・この授業を受けて、自分からすすんで絵本だけでも、わかりやすいイエスとマリアの本を読みました。自分の世界が少しだけ広がったような気がしました。きっかけを与えてくださってありがとうございます。あと、先生自身の話はおもしろかったです。
- ・ふだんあまり触れることのない宗教というものを色々な角度から知ることが出来、関心を持つことができてよかったです。
- ・神の存在などをあまり理解してはいなかったが、映画などを見て深く関わることで興味・関心・親近感などもわいてきた。
- ・人と宗教との関わりをより深く知る事が出来てよかったですと思います。
- ・宗教への感じかたはひとそれぞれで、私も初めは興味なかった。しかし宗教一つ一つに一人一人の生涯が関係していることを知り、関心が持てた。
- ・この授業を通して、やっぱり宗教とかって人にとって大事なものっていうか、人が人であることを証明するものっていうか、人にとって宗教は人間だけに許された特権だと思う。
- ・私たちにとって宗教は、ずっと昔からそばにあって、アメリカとかイギリスなんかは生活の一部にもなっている。私たちが考えたりする上でも、絶対宗教的な思想が含まれているだろうし、そう考えると、人にとって宗教はなくてはならないものかもしれない。だから宗教は戦争をする理由なんかじゃなく、人間の心の支えであって欲しいと願います。
- ・宗教のイメージというよりも、その宗教の教えに対して、どの様な信仰をしているのか、が意識の違いだったと思います。勝手なイメージでしかないのですが、信仰と聞くとどうしてもその宗教こそが正しい、皆の考えが同じでなければいけないのだと思ってしまうのです。尊敬するという考えなら、宗教戦争みたいなものは、なくなるのにはと思います。
- ・今まで宗教と聞くと良いイメージではなくて…洗脳させるというか…そのような感じだと思っていただけ、そうではないという事を知れたので少し考えが変わった。→自分の知らない宗教の世界をこの授業で知る事ができた。
- ・最初は「宗教なんて興味ないしなあ…」って思っていたけど、先生が、わかりやすく説明してくれたり、おもしろい話やVTRを見せてくれたり、本当に楽しくて、今はこの授業が終わってしまうのが、さびしいです。2年生になったらまた先生の授業とるので、その時はよろしく願います。
- ・今、宗教に関して色々な事件とかマイナスなイメージとかが私の中にあるので(例えば、オウム〜のとか)、あまり宗教は好きではありませんでした(今も…)。でも、親鸞さんはなんだか好きになりました。
- ・もっと色々な宗教のことを知ってみたいと思いました。あと、次に宮崎駿作品やバガボンドを見たとき、もっと深いところまで考えることができそうです。
- ・とてもおもしろく、興味を持てました。必修であってもまったく問題ないかと思います。
- ・宗教についての興味が深まってとてもおもしろかったです。授業の中で宗教や人生に関する占いをやってみたいと思った。
- ・悟りを開くまでの流れのビデオが興味を示して楽しく見る事ができた。私は宗教を持ってはいないが、宗教を持っている人の気持ちは大切にしたいと思った。
- ・色々なビデオを見て、その時、その時、いろんな事を考える事が出来た。いつも聞いたりする人と宗教が関わっていたりして、関心を持ちました。もっと色々な事について学びたいと思った。
- ・昨年もこの授業を受けましたが、個人的な問題で登校自体も出来ず、宗教に触れられませんでした。しかし、今期、この授業を受けて、宗教の「尊さ」を知ったように思います。普段から日常的に触れる宗教はほんの初めにすぎず、つきつめていけばいくほど深いものになるのだと思いました。
- ・宗教とか神とかいわれると正直わかんないけど。どちらかという自分たちの精神的なささえなんじゃないかと思った。
- ・授業を受けて、人によってさまざまな考え方があったとわかった。人々からあつい信仰を受けているものは、発展した経過や信じるものは違えども、平和的で理想的なものであるのがあらためてよく分かった。

- 宗教を開いた人や、信仰している人たちはがちがちに目が血走っているよな？イメージがあったけど、思い思いに悩んでいて、人間らしいなと思いました。
- 宗教を学ぶことによって、人の行動理念を理解できたり、芸術作品の中で暗に示されていることを感じとれたりすることは面白いと思った。知識として学ぶことに抵抗はない。布教する人には嫌悪するものの、教えに基づいて行動する人は嫌いじゃない。でもやっぱり、キリスト教も仏教も神道も全て含めた上で、多神教的な考えが好き。
- 日本人は無宗教だと大半が信じているが、なんだかんだで、宗教への信仰心があり、すべて都合よく考えているところがなんだか笑えた。初もうでに始まり、クリスマスを行い、日本人は宗教に対しても欲張りだと思った。
- 宗教は人間の心のより所なのだと思います。そして、死と向かい合うと同時に生の活力にもなるものだと思います。
- ビデオでの授業が多くてわかりやすかったです。仏教以外にキリスト教も授業でやったので宗教の違いがわかりました。
- 宗教の存在はとても大きいもので、その人の一生にふかくかかわる事も多いものです。そんな存在だからこそ、宗教を学ぶさいにはその言葉や宗教の意味をきちんと理解しなければならないのだと思いました。

③とくに授業のテーマに興味を示した回答群

- ジブリやまんがなど私の身近な話題から宗教を学ぶというのはおもしろく入りやすかったです。個人的にはキリスト教やイスラム教なども勉強すると思っていたので少し残念なところもありました。半年という短い時間でしたがありがとうございました。
- マザー・テレサに一番興味を持ちました。生きる大切さとか人への思いやりの大切さが伝わりました。
- 特に関心を持てたのが、「マザー・テレサ」という人物、そして宮崎駿作品の中にある宗教性についてでした。
- 宗教学というと、難しいイメージを持っていたけれど、ビデオなどを使って分かりやすく説明されていたので、内容にすんなりと入っていけました。とても良かったです。
- ビデオの内容が考えさせられるものばかりで毎回涙してしまいました。もう一度見たいです。
- 宗教と聞くと知らない世界のように思っていました。宮崎駿作品など親しみのあるものを通しての授業だったので理解を深めることができました。
- 仏様やキリストは実際にいたのかすらわからないけど…、マザー・テレサなど実際に本当に居てどんな人でも信じようと思った人がいたのは本当にスゴイと思いました…。
- あまり考えることのなかった宗教について、深く考えることができました。特にマザー・テレサのビデオは印象に残り、その生き方は素晴らしいと思いました。
- いつも、なにげなく見ているマンガや映画の世界にも宗教的な考え方があったりして、もっと意識してそういう所を見るのもおもしろそうだと思います、前よりも宗教に関心が持てました。
- 今まで、何も考えずに観ていた「千と千尋の神かくし」や「バガボンド」の中にも宗教に関係するものがあると知り、関心が持てました。
- 普通の学校では、宗教の授業などやらないので、この授業をうけてよかったです。ジブリ映画にも宗教的なものがあったなんて知らなかったです。「千と千尋」の見方が変わった気がします。
- 小学生の頃からマザー・テレサが好きで、何度も伝記を読んでいたけれど、彼女の凄いところばかりに目がいつて、宗教的観点からは何か考えたことはなかった。授業で、彼女のみでなく、偉人の偉業の宗教的観点に目がいくようになった。
- 今まで私は仏教とは関わる事が多かったので、マザー・テレサの事を授業で学ぶ事が出来たのがよかったです。
- アニメ、マンガと宗教を結びつける考えはとても楽しかった。
- 宗教の知識は高校で学んだことを再確認できた良かったし、「バガボンド」、「宮崎駿作品」にみる宗教性はいつもと見方を変えて学べて、非常におもしろかった。
- 色々な宗教を通じて、物事の考え方が広がった気がする。
- 授業の時にビデオを見たり、ジブリの絵コンテを使いながら宗教について考えるということが楽しかったです。
- 親鸞や釈迦といわれると、とても遠い人というイメージがあり、あまり興味を持つことができなかったが、マザー・テレサや宮崎駿作品など、身近(でもないが…)なものごとに関連づけられると、少し興味をもてました。

例えば、千と千ひろの事例でいうと、今まで何となしに見ていた作品だったけれど、言われてみるとそういうことが作中にほめかされているのかという点がいくつかありとても面白い。あの電車でのシーンだが、いくつ目かの駅に女の子がながめているシーンがあった。(ホームから)あれはどういう意味合いをもっているのかすごく気になる。川(海?)が三途の川を示しているのならば、死んだ身内をホームですずっと待っているのかなとか深読みしてしまう。また、電車の乗客は何なのだろうかと、やはり霊なのかなあと思いつつもみていた。

・前回の授業で“千と千尋の神隠し”が宗教的だと聞いてとても驚きました。他にもないか探してみたいです。

④その他の回答群

- ・日本人は宗教について考える時間が少ないと思うので学ぶ機会が増えると良いと思った。
- ・とても楽しい授業でした。たくさんの事を学べたと思います。ありがとうございました。
- ・高校まで、一度も宗教という授業を受けたことがなく、初めて、きちんとここまで深く宗教について考えましたが、自分には「死」という目に見えない想像できないことを、誰かの思想によって、何か形あるものとして思うのは、改めて、むずかしいことだなあと思いました。
- ・難しかったです。奥が深くて…。
- ・先生がステキすぎて、大好きすぎました。そして、わかりやすく、家にくるおぼろさんは意味がわからないのに長くてキレイなのに、先生のはなしはとってもわかりやすく、楽しくて大好きです。先生の京都弁がたまらなかったです。2回受けても足りないです。
- ・むずかしくてわからないこともあるけど、これから生きていくなかでわかっていければいいなと思いました。
- ・ちょっとむずかしかったです。
- ・ずっと思っていたのだけれども、若い人は「無宗教です」と言う人が多いが、その家族はどうなのだろう。多分、家それぞれにご先祖さんからついでいる宗教があると思うのだが…。ただ単に、知らないだけなのだろうか。それとも、「家族と私は別だ」と言うことなのだろうか。
- ・若干ねてましたが。すいません。先生が面白くて楽しく受ける事ができました。哲学の時から、先生の授業が好きでした～!!
- ・ビデオ学習が多くて楽しかったです。
- ・先生の走り書きした字が読みにくいです。プリントで授業をしたとき、どこの部分が重要(ようはテストに出されそうなところ)なのか、いまいわかりづらかったです。
- ・先生が面白いということが救いだっただ。
- ・自分が少し知っている事のルーツがわかると楽しいなと思いました。中学生の頃『バガボンド』を読むために整骨院に通っていた記憶がありますが、結果読むのに疲れました。
- ・カルト宗教についての授業もうけてみたいです。
- ・楽しくわかりやすく学べて良かったです。

音楽学部

①授業が自分の生き方等を考える上で役立ったという趣旨の回答群

- ・先生の話、タメになりました。おもしろかったです。人生観が少し変わりました。
- ・マザー・テレサや親鸞、釈迦の生涯をビデオや講義で知れて、これからの長い人生への考え方が少し変わりました。
- ・先生の授業わかりやすく、楽しかったです。感想文とか書く度に自分の今思っている事とかを整理できて、良かったです。
- ・授業にはあまり出席できなかったけど、この授業を通して自分の生き方や考え方を深くまで考えるようになりました。葬儀ディレクターやマザー・テレサは特に生きている価値や、これから生きていくのに考えなければいけないことを教わった気がしました。
- ・自分の進む道に迷いが出た時、心の拠り所としてすがる、帰依をするという気持ち少し理解できたと思います。映像資料が効果的で非常に勉強になりました。
- ・普段、人間の生き方について、考える機会というものはありませんので、この授業を期に、生活を見直すことが出来ました。

②宗教や仏教に興味・関心が深まったという趣旨の回答群

- ・身近な題材やビデオなどを多く使っていたので今まで遠い存在だった宗教も少し興味を持てるようになりました。ビデオの内容もまじめすぎるものではなくて、授業を受けやすかったです。
- ・仏教にもいろいろな人がいたんだなーと思った。
- ・信仰は持っていないが信仰を持つ人の思想に興味を持てた。また宗教のルーツについて、様々な宗教の根源を知りたいと思った。
- ・親鸞聖人の生涯について詳しく知ることができた。
- ・普段関わる事のない宗教について勉強できてよかったです。
- ・いろいろな視点からの宗教がわかってとてもおもしろかったです。
- ・「私はこの宗教!」とは思ったことはないけど、いろいろな人の思想をきいて、考え方が変わったりした。宗教というのも良いものだった。
- ・仏教についてたいした知識がなかったので、学べてよかったです。
- ・色々な内容のVTRを見て楽しかったです。「宗教」についてわかりやすく説明がきけました。
- ・宗教といえばかりイメージがあったが、ビデオなどをたくさんみるとやっぱり人間だということになり、悩みを経てあなっただけ、そう感じさせました。
- ・一つ一つの宗教で、理解できるところとできないところとあると感じた。
- ・ものすごく楽しかった。もっとブディストの考え方やライフスタイルについてしりたくなかった。今度先生と色々宗教や生き方について話をしてみたくないのでいつかしましょう! 色々ありがとうございました!

③とくに授業のテーマに興味を示した回答群

- ・ビデオが非常に分かりやすかった!
- ・授業はとても個人的に好きだったので、楽しかったです。マザー・テレサにはとても感動しました。
- ・ビデオはどれもとても興味深く、おもしろかった。
- ・ジブリ良かったです。
- ・千と千尋の神かくしは楽しかった。
- ・ビデオが多くて、わかりやすかったです。
- ・親鸞とかマザー・テレサとかビデオが見れて良かったです。
- ・ジブリやマンガにも宗教の思想があったのはおどろいた。興味のもてる題材をつかってくれるのでわかりやすかった。

④その他の回答群

- ・すごく興味を持てる授業でした。
- ・とてもためになりました。
- ・深かった。
- ・授業はとても学ぶことが多くて良かったです。でも私語が多くて集中できない面もたくさんあった。
- ・先生の授業、来年もうけたいです!!
- ・楽しかったです。(他に1)
- ・大好きです。ありがとうございます。
- ・凄いわかりやすい授業で、沢山興味をもてた。
- ・難しく理解できないと思ってたけどわかりやすかったです。(他に1)
- ・ありがとうございました。
- ・ビデオを観ながらやるのでわかりやすかった。
- ・すごく感動したり、考えることが多く楽しかった。
- ・一講目の授業なので、遅刻が多かったけど、先生の授業楽しかったです。
- ・難しかったけど、深く考えさせられる時もありました。
- ・やっぱり宗教は心がやすらぐなーと思いました。
- ・色々なビデオを見れたのが良かったです。
- ・ビデオもすごくよかったですし、毎回楽しくできました。

【参考資料3】

調査票

第1問 あなたは宗教にどの程度関心がありますか。

- 1 現在、信仰をもっている
- 2 信仰はもっていないが宗教に関心がある
- 3 信仰はもっていないし宗教にもあまり関心がない
- 4 信仰はもっていないし宗教にもまったく関心がない

第2問 「第1問」で、「信仰をもっている」と回答した方へ質問します。あなたの信仰している宗教は何ですか。

- 1 神道
- 2 仏教
- 3 キリスト教
- 4 新宗教
- 5 その他

第3問 あなたが、人生に悩んだときに、相談したいと思う宗教者がいたら次から選んで下さい。

- 1 仏教の僧侶
- 2 キリスト教の牧師、神父など
- 3 神社の神主
- 4 街の占い師
- 5 その他の宗教家

第4問 あなたは、神、仏、靈魂の存在を信じますか。どちらかに○をしてください。

- 1 神の存在について 信じる 否定する
- 2 仏の存在について 信じる 信じない
- 3 靈魂の存在について 信じる 信じない

第5問 あなたは、崇りの観念について何かがタタルということはあると思いますか。

- 1 あると思う。
- 2 どちらかといえばあると思う。
- 3 ないと思う。

第6問 あなたはこの授業を通して、「宗教」についてのイメージが変わりましたか。

- 1 変わった 37人
- 2 変わらなかった 20人

1の「変わった」に○を付した人は、どのように変わったのかを書いてください。

2の「変わらなかった」に○を付した人は、変わらなかった理由を書いてください

第7問 授業で取り上げたテーマで、興味を持てた程度について、評価してください。

- A 「宗教」の概念整理
- 1 大いに持てた
 - 2 少し持てた
 - 3 あまり持てなかった
 - 4 全く持てなかった
- B 親鸞の生涯と思想
- 1 大いに持てた
 - 2 少し持てた
 - 3 あまり持てなかった
 - 4 全く持てなかった
- C 釈迦の生涯と思想
- 1 大いに持てた
 - 2 少し持てた
 - 3 あまり持てなかった
 - 4 全く持てなかった
- D マザー・テレサの生涯と思想
- 1 大いに持てた
 - 2 少し持てた
 - 3 あまり持てなかった
 - 4 全く持てなかった
- E 『バガボンド』・宮崎駿作品にみる宗教性
- 1 大いに持てた
 - 2 少し持てた
 - 3 あまり持てなかった
 - 4 全く持てなかった

第8問 この授業を受けての感想や意見を、自由に述べてください。